

令和5年度（2023年度）

豊中市キャラクター マチカネくん



# 小学生すくすくテスト（第5・6学年）豊中市の結果概要

今年4月17日から4月25日にかけて実施された小学生すくすくテストについて、豊中市の児童のみなさんの調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

令和5年（2023年）10月 豊中市教育委員会

## ●目的

子どもたち一人ひとりが自らの強み等を知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力を着実につける。

## ●対象学年・参加児童数

第5学年：豊中市 3,638人 大阪府 66,514人

第6学年：豊中市 3,641人 大阪府 67,329人

## ●実施内容

第5学年：国語・算数・理科・わくわく問題（教科横断型問題）・アンケート

第6学年：理科・わくわく問題（教科横断型問題）・アンケート

## ●各教科・わくわく問題（教科横断型問題）の出題内容及びアンケート内容について

国語：言語能力・読解力の基礎となる、基礎的基本的な言葉等の理解を問う問題

文章に書かれている意味を正確に捉える力（リーディングスキル）をはかる問題

算数：関数・数と計算・図形に関する基礎的な知識技能、数学的な表現や意味理解、日常の事象を数学的に処理する技能を問う問題

理科：理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことや、その結果を数学的に表したり、分析したことを記述したりする問題

わくわく問題（教科横断型問題）

教科の枠を超えた日常の活動や現代的な諸課題（SDGs、プログラミング的思考）等をテーマにした問題

文章やグラフ、リーフレット等の様々な資料を題材としている。

問題をつかみ、資料を読み取ったり思考したりして、自分の考えを表現する力を問う問題

アンケート

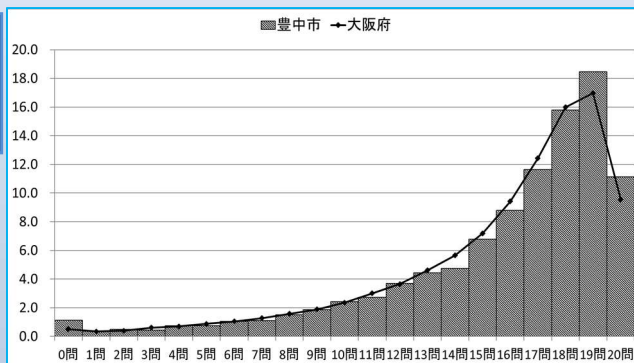
非認知能力である「未来に向かう力」と「好奇心」の一人ひとりの状況がわかる様々な問い方に基づく項目等



## 第5学年 各教科（国語・算数）

### 第5学年 国語

※横軸は児童の正答数、縦軸は児童の割合を示しています。



分類	区分	平均正答率 (%)		
		大阪府	豊中市	対府
学習指導要領の領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	80.8	81.1	/
	(2) 情報の扱い方に関する事項	62.8	64.6	/
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	64.4	64.8	/
評価の観点	書くこと	82.4	82.4	→
	知識・技能	78.3	78.6	/
問題形式	思考・判断・表現	82.4	82.4	→
	選択式	77.5	77.8	/
	短答式	79.1	79.4	/

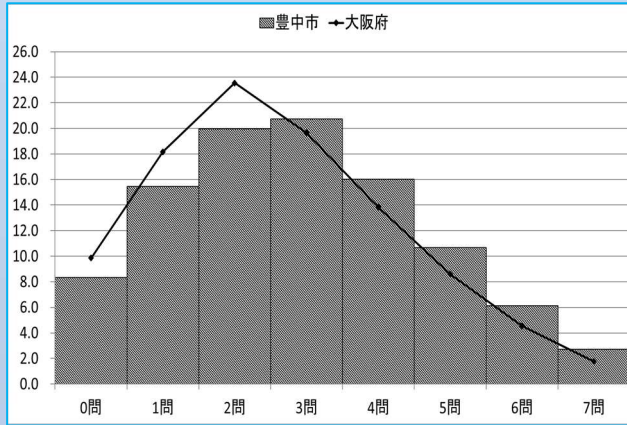
●全ての分類において大阪府の平均正答率（以下、正答率と表記）を上回っています。

●文中の助詞を正しく使う問題（問2）、文を正しく理解し指示語の指示内容を捉える問題（問7（1））等については、正答率が高くなっています。

●書かれた文の意味を正しく捉え適切な漢字を使って書く問題（問1）、日常で使うローマ字を正しく書く問題（問4（2））や故事成語の意味を正しく理解する問題（問5（2））では、正答率が低くなっています。

## 第5学年 算数

※横軸は児童の正答数、縦軸は児童の割合を示しています。

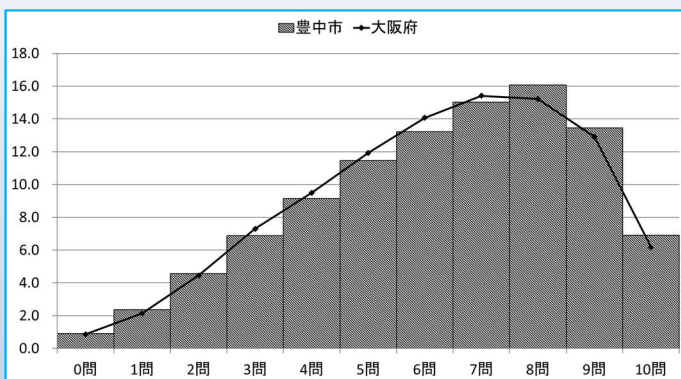


分類	区分	平均正答率 (%)		
		大阪府	豊中市	対府
学習指導要領の領域	数と計算	39.5	44.5	↗
	図形	39.9	42.8	↗
	測定/変化と関係	26.7	32.3	↗
	データの活用	24.4	27.2	↗
評価の観点	知識・技能	48.0	52.3	↗
	思考・判断・表現	11.1	14.6	↗
問題形式	選択式	24.4	27.2	↗
	短答式	53.9	58.6	↗
	記述式	11.1	14.6	↗

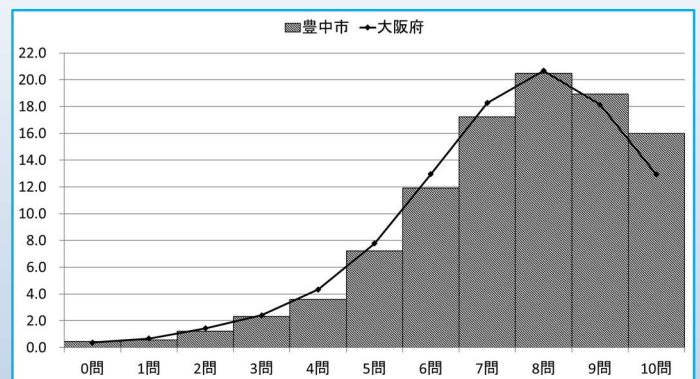
- 全ての分類において大阪府の正答率を上回っていますが、大阪府・豊中市ともに全体を通して正答率が低い結果となっています。
- 割り算を使う問題の場面を理解して立式し商を求める問題（問1（1））長方形と正方形の絵画のそれぞれの面積の求め方を理解し2つの面積の差を求める問題（問2（3））において、正答率が高くなっています。
- 問題文やグラフから読み取れる情報をもとに計算し、必要な数量を求めるとともに、その求め方を説明する問題（問1（3））や、正三角形と様々な四角形を構成する要素や性質を理解し正三角形を組み合わせても現れない四角形を考え、その理由を説明する問題（問2（4））において、正答率が低くなっています。

## 第5学年・第6学年 理科・わくわく問題（教科横断型問題）

### 第5学年 理科



### 第6学年 理科



※横軸は児童の正答数、縦軸は児童の割合を示しています。

分類	区分	平均正答率 (%)		
		大阪府	豊中市	対府
学習指導要領の領域	エネルギー	69.9	69.6	↘
	地球	57.2	58.5	↗
評価の観点	知識・技能	57.6	57.7	↗
	思考・判断・表現	73.2	75.0	↗
問題形式	選択式	63.7	64.3	↗
	短答式	55.5	53.8	↘
	記述式	64.9	66.8	↗

分類	区分	平均正答率 (%)		
		大阪府	豊中市	対府
学習指導要領の領域	エネルギー	72.8	73.9	↗
	地球	73.3	75.3	↗
評価の観点	知識・技能	74.4	75.9	↗
	思考・判断・表現	69.9	71.9	↗
問題形式	選択式	66.3	68.2	↗
	短答式	81.5	82.7	↗
	記述式	62.7	64.9	↗



●理科は、第5学年と第6学年に、問1のみ同一問題が実施されました。

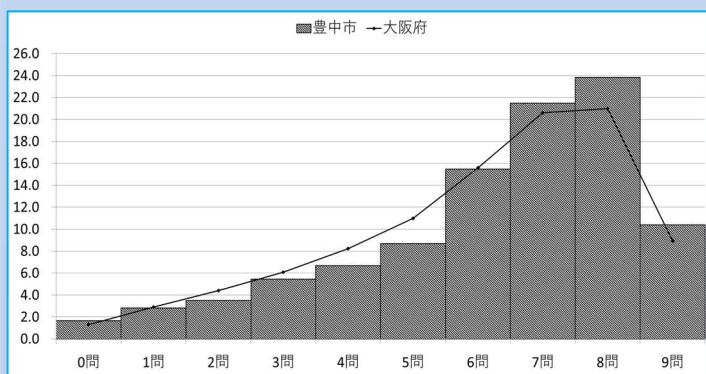
●第5学年においては

- ・エネルギーを柱とする領域や短答式の問題形式において大阪府の正答率を下回っています。
- ・季節による植物の成長の違いを理解する問題（問2（2））において、正答率が高くなっています。
- ・乾電池2個と豆電球1個からなる回路で乾電池を直列つなぎにしたときと並列つなぎにしたときの豆電球の明るさの違いを理解する問題（問1（1））や虫めがねの正しい使い方を理解する問題（問2（3））において、正答率が低くなっています。

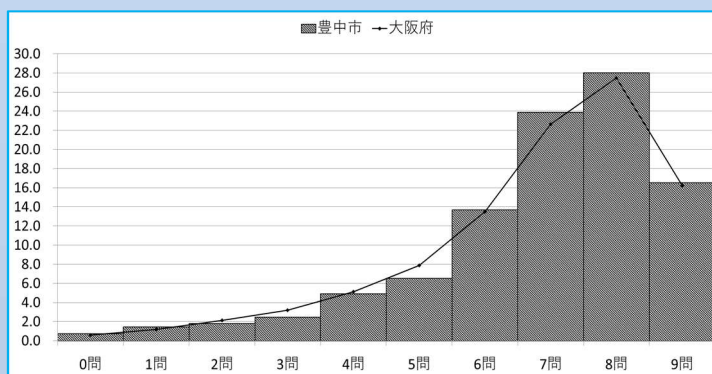
●第6学年においては

- ・全ての分類において大阪府の正答率を上回っています。
- ・雨が降り出すときの雲の様子について理解する問題（問2（5））において、正答率が高くなっています。
- ・気象衛星の雲画像とアメダスの降水量の画像から今後の天気の変化について考察する問題（問2（6））において、正答率が低くなっています。

### 第5学年 わくわく問題



### 第6学年 わくわく問題



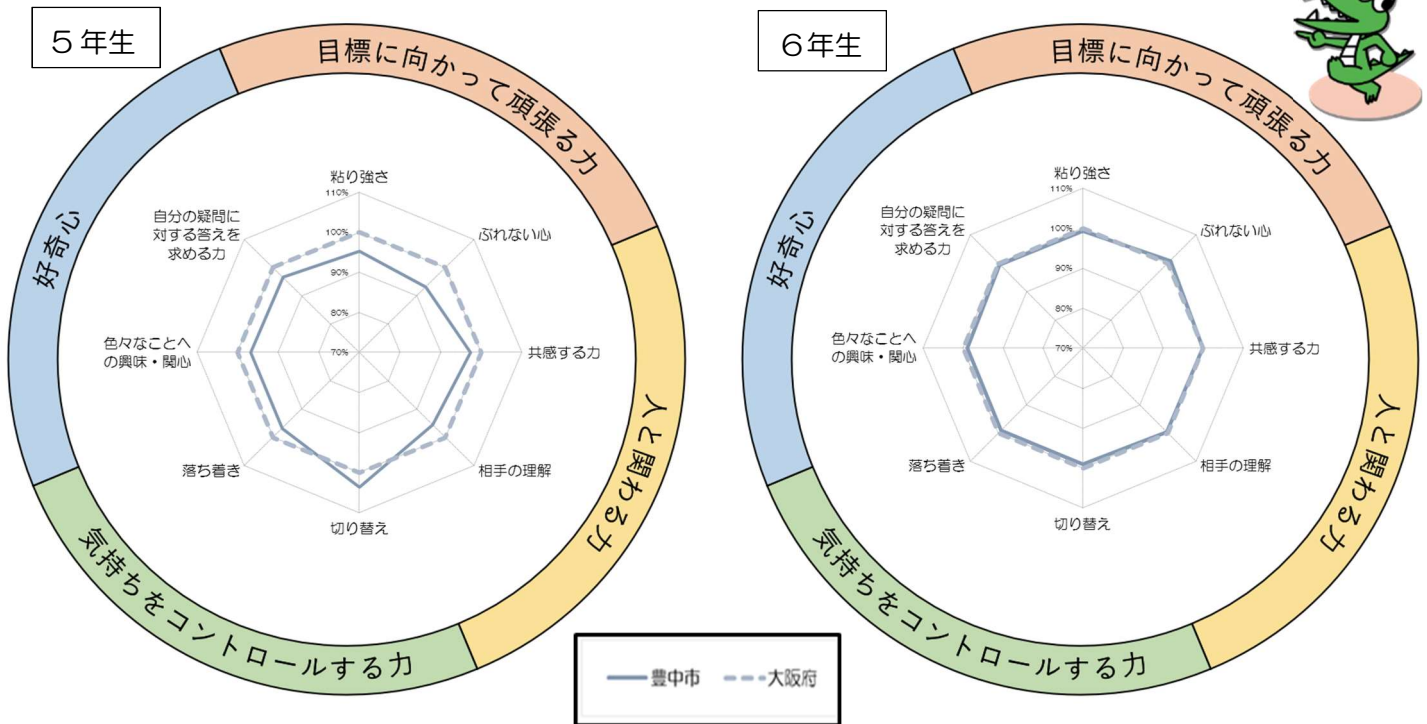
分類	区分	平均正答率 (%)					
		第5学年			第6学年		
		大阪府	豊中市	対府	大阪府	豊中市	対府
	A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	75.9	79.3	↗	84.0	85.2	↗
	B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	51.8	54.1	↗	61.9	62.4	↗
	C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	70.6	73.0	↗	80.2	80.8	↗
	D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	63.9	65.9	↗	73.1	74.1	↗
	E 興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	87.3	87.4	↗	91.7	92.1	↗
問題を とらえる	文章から読み取る	72.7	75.7	↗	81.9	83.0	↗
	会話から読み取る	70.0	71.6	↗	77.7	77.9	↗
	図や表から読み取る	62.1	64.9	↗	71.4	72.2	↗
伝える	資料の情報を整理して伝える	60.1	62.5	↗	68.5	69.2	↗
	自身で考えたことを伝える	74.2	76.0	↗	83.1	83.7	↗
	理由や根拠を明確にして伝える	65.5	68.8	↗	76.4	77.3	↗
問題形式	選択	72.4	75.8	↗	80.5	81.6	↗
	図表	87.3	87.4	↗	91.7	92.1	↗
	記述	64.4	66.1	↗	73.2	73.7	↗

- わくわく問題は、第5学年と第6学年に同一問題で実施されました。
- どの分類においても、第6学年の正答率は、第5学年の正答率と比較して上回っています。
- 第5学年・第6学年ともに
  - ・全ての分類において、大阪府の正答率を上回っています。
  - ・センサーについての複数の資料を読み取り、分類する問題（問2（2））や大阪を訪れた人が困らないようにするための記号を考え、その工夫を伝える問題（問3（3））において、正答率が高くなっています。
  - ・身の回りや社会の様々な問題を解決するために作りたいロボットを考える問題（問2（3））や複数のピクトグラムを種類ごとに分類・整理する問題（問3（1））において、正答率が低くなっています。



## 児童アンケート結果から

児童アンケート結果では、目標に向かって頑張る力・人と関わる力・気持ちをコントロールする力の「未来に向かう力」と「好奇心」の項目平均（当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計）から、大阪府を基準とした豊中市の特徴をまとめています。



- 第5学年では、気持ちをコントロールする力の「切り替え」が、他の項目と比べて、高い結果となっています。一方で、目標に向かって頑張る力の「粘り強さ」や「ぶれない心」は、他の項目と比べて低い結果となっています。
- 第6学年では、目標に向かって頑張る力の「ぶれない心」が、他の項目と比べて、やや高い結果となっています。一方で、気持ちをコントロールする力の「切り替え」や好奇心の「色々なことへの興味・関心」は、他の項目と比べて、やや低い結果となっています。

※このテスト及びアンケート結果は、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

